

寿福祉センター保育所における自己点検・自己評価（職員用 1/2）

* 2024年度の保育全般を各職員が総合的に評価し、その平均値を掲載しました。

- | | |
|---|-----------------------------|
| 5 | : たいへん良い |
| 4 | : 良い |
| 3 | : 大体良いが更に良くなる(もう少し学べば深められる) |
| 2 | : 検討を要する |
| 1 | : 改善を要する |

I. 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価
① 目標 保育	(1) 目標は、各施設や、地域の特色を活かしているか。	3.7
	(2) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	3.7
② 保育	(1) 保育所保育指針をふまえ、指導計画を乳幼児の実態に即して作成しているか。	3.8
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	3.7
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。	3.4
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	3.7
③ 行事	(1) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	3.9
	(2) 乳幼児の自主的・実践的な活動にしているか。	3.6
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	3.3
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	3.6
④ 食育	(1) 目標は、全職員で検討され共有されているか。	3.5
	(2) 食に興味を持てるよう、年齢別の食育活動を行っているか。	3.4

II. 開かれた保育所づくり

項目	内容	評価
① 施設 連携 交流	(1) 他施設等と交流をしているか。	3.8
	(2) 参観や保育に参加する機会があるか。	4.1
	(3) 必要に応じて他施設と情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。	3.7
② 地域 家庭	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日・見学日・保育参加日等を設定しているか。	3.6
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	3.6
③ 子育て 推進 支援	(1) 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放しているか。	4
	(2) 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	3.6
	(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	3.8
④ 情報 の 発	(1) 保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	4.3
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や関係施設等に周知しているか。	3.9

Ⅲ. 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

	内容	評価
① 体制	(1)職務内容が明確で協働できる体制になっているか。	3.1
	(2)係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	3.2
② 運営	(1)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	3.1
	(2)打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	3.3
	(3)「ヒヤリハット」を記録・共有し、以後の保育に役立てているか。	3.9
③ 年齢別・クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や乳幼児の実態に基づいて設定しているか。	3.9
	(2)年齢別・クラス目標に即して短期・長期のねらいを適切に設定しているか。	4.1
	(3)同年齢および異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	3.7
	(4)職員の連携は十分に取れているか。	2.9
	(5)評価(資料・諸記録)はしているか。	4.2
④ 保健・安全指導	(1)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	4.1
	(2)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のために、家庭への啓発を行っているか。	3.9
	(3)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	3.9
	(4)基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもの援助をしているか。	4.2
⑤ 研修	(1)研修の計画・運営は適切か。	4.2
	(2)施設内・施設外研修に積極的な姿勢で参加し、専門知識や技能を高め、日々の保育や業務に反映させているか。	4.1
⑥ 情報	(1)守秘義務を守り、乳幼児や保護者に関する個人情報을適正に取り扱っているか。	4.3
	(2)子どものことやクラスのできごと等で必要なことは、職員間で報告・連絡・相談をし、情報を共有しているか。	3.9
⑦ 施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	4.1
	(2)遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	3.6
	(3)不審者に対応する配慮を行っているか。	4
⑧ 出納・経理	(1)資材の有効利用や経費の節減に努めているか。	3.8

寿福祉センター保育所における自己点検・自己評価（管理職用 1/2）

* 2024年度の保育全般を管理職員が総合的に評価し、その平均値を掲載しました。

5	: たいへん良い
4	: 良い
3	: 大体良いが更に良くできる(もう少し学べば深められる)
2	: 検討を要する
1	: 改善を要する

I. 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価
① 保育 目標	(1) 目標は、どのように特色を活かしているか説明できる。	4.3
	(2) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図れるようにしているか。	3.6
② 保育	(1) 保育所保育指針をふまえ、指導計画を乳幼児の実態に即して作成しているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導をしているか。	4
	(2) 日々の保育に目を配り、必要に応じて適切な助言や指導、声掛けをしているか。	4
	(3) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	3.7
③ 行事	(1) 計画・実施・評価・改善の体制に自ら関わり、実践しているか。	4
	(2) 乳幼児の自主的・実践的な活動にしているか。	3.3
	(3) 保護者の願いや意見を取り入れられるよう、日常の中で保護者とのコミュニケーションをとっているか。	3.7
④ 食育	(1) 目標は、全職員で検討し、かつ共有できるようにしているか。	3.3
	(2) 年齢別の食育活動が行われるように助言をしているか。	3.5

項目	内容	評価
① 施設 連携 交流	(1) 他施設等と交流をしているか。	4.3
	(2) 参観や保育に参加する機会を設け、周知しているか。	4.3
	(3) 必要に応じて他施設と情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。	3.5
② 地域 家庭	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日・見学日等を設定しているか。	3.8
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	3.5
③ 子育て 支援	(1) 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放しているか。	3.8
	(2) 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	3.5
	(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	4.5
④ 情報 発信	(1) 保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	4.5
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や関係施設等に周知しているか。	3.8
⑤ 外部 評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映させているか。	4.3
	(2) 地域や保護者意見を施設運営に反映しているか。	4

Ⅲ. 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

	内容	評価
① 体制	(1)職務内容が明確で協働できる体制になっているか。	3.3
	(2)係りや仕事の分担・割り当ては適切かどうかを見直しているか。	3
② 運営	(1)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関われるような環境作りをしているか。	3.3
	(2)打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	3.5
	(3)「ヒヤリハット」を記録・共有するようにし、以後の保育に役立てられるようにしているか。	4
ク③ ラ年 ス齡 運別 営・	(1)年齢別・クラス目標、およびねらいは、保育目標や乳幼児の実態に基づいて設定しているかを確認し、必要に応じ適切に助言、指導をしているか。	4.3
	(2)職員の連携は十分に取れているか目を配り、必要に応じて助言等を行っているか。	4
	(3)評価(資料・諸記録)等に目を通し、必要に応じ適切に助言、指導および改善を行っているか。	4
④ 保健 ・ 安全 指導	(1)避難訓練・交通安全指導の計画を作成し、それに基づいて適切に実施しているか。	3.5
	(2)乳幼児の健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のために、家庭・地域社会・関係機関等と適切に連携を図っているか。	4
	(3)基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもの援助をしているか。	3.8
⑤ 研修	(1)研修の計画・運営は適切か。	4
	(2)自身も含め、職員全員が施設内・施設外研修に参加できる機会を作り、職員の資質向上に努め、日々の保育や業務に反映できるようにしているか。	3.8
⑥ 情報	(1)守秘義務を守り、乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。	4.3
	(2)子どものことやクラスのできごと等で必要なことは、職員間で情報を共有できるようにし、自身も状況の把握に努めているか。	4.3
	(3)公文書收受、発送、処理は適切に行っているか、また各表簿は適切な方法で作成・処理しているか。	4.3
⑦ 施設 備設 ・	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導をしているか。	4.3
	(2)不審者に対応する配慮を行っているか。	3.5
⑧出納・経理	(1)資材の有効利用や経費の節減に努めるよう心がけ、職員が意識できるようにしているか。	3.5

【寿福祉センター保育所 総評】

・毎年、自己評価の結果を踏まえ、課題解決や内容の向上に職員一同で取り組んでいるわけですが、今年度は殆どの項目で少しずつ評価数値が上がりました。これは職員一人一人が課題解決に向けて主体的に取り組んだ結果だと思えます。多くの職員が受動的から能動的・主体的に変わってきたという手ごたえがありました。中でも保育の目標や実践に関する項目が向上したことは嬉しいことです。もちろん更に工夫と努力が必要です。職員一同精進してまいります。

・研修では例年受講しているもの以外に今年度はベビーマッサージやリフレーミングといった新しい研修も取り入れました。毎年実施している人権研修では【当たり前ってなんだろう】という事について全職員で考え、一人一人の違いを大切にすることへの意識が高まりました。

・ここ数年【職員の連携強化】が課題となっていました。こちらについても多くの職員が受け身ではなく、自分から声をかけたり能動的に取り組むようになってきました。他クラスとの協力姿勢が高まったことで異年齢の関わりが増えたり、担任以外の保育者との関わりが増えたりと社会性や協調性、思いやりの心の育ちに繋がったと感じています。

社会性と言う点では、今年度も地域の皆様に可愛がっていただき、年長組のサッカー教室やアート体験、ハロウィンや豆まきでの触れ合い等多くの大人と関わることで成長できました。

・食育にも力を入れています。給食の食材は地域の業者から毎日新鮮な物が届きます。また当保育所は外国籍の方が多いので、毎月献立に外国の料理も取り入れています。

日々の給食の他、野菜の栽培や調理の経験もしていますが、子ども達の「楽しかった！」「美味しい！」の声は保育者の喜びです。初めて開催した「ブリの解体ショー」も子ども達は興味津々。命の大切さについても真剣に話を聞いていました。次年度も実施予定です。今年度は幼児の体験が中心になっていました。乳児の食育は主に「食べようとする力を育むこと」ですが、今後は乳児向けにも五感で感じる楽しい食育体験を取り入れていきたいと思っています。体と心を育む源【食事】をこれからも大切にしていきたいです。

・今後も【職員連携の強化】はまだまだ改善が必要です。そして【他施設や地域との交流】【保護者の方の保育への参加の機会】を更に増やしていきたいと思っています。

また、保護者の方との日常の会話を大切にしておりますが、外国籍家庭の国籍が多岐に渡ってきておりコミュニケーションを図るためにもアプリの導入等工夫が必要と考えています。

これからも子ども達、保護者の皆様の笑顔のために職員一同努力してまいります。

・最後になりましたが、今年度も寿福祉センター保育所の運営にご理解とご協力を下さった保護者の皆様、地域の皆様に心から感謝申し上げます。